

○第5回吉田小学校統合準備協議会協議概要

令和4年11月24日（木） 19:05～20:40

吉田公民館 大ホール

出席者 教育長・教育部長・教育総務課長・同課課長補佐・同課課長補佐兼施設係長・同課総務係長・同課総務係主査・学校教育課長・生涯学習課長・生涯学習課課長補佐
教育委員1名
宇和島市議会議員2名
統合準備協議会委員39名（5名欠席）

1. 教育長あいさつ

これまで開催した教育検討部会、跡地利活用検討部会での検討や協議のご協力に感謝を申し上げますとともに、本日、統合小学校開校までのスケジュールに関して、事務局から経緯等を説明後、今後の方向性を協議して参りたい旨を申し上げます。

※司会から、新型コロナウイルスについて、感染防止対策をしたうえで開催している旨も申し伝える。

2. 協議事項（統合小学校開校までのスケジュール）

配布資料に基づき、（1）工事入札不調の影響、（2）建築スケジュール見直しで直面する問題、（3）問題解決に向けた提案、（4）各案に係る主な課題と解決方法（案）、（5）市教育委員会としての考えまでの説明を行う。

（1）工事入札不調の影響

入札制度について説明を行ったうえで、入札不調の理由、再入札に向けた準備を進めている旨、再入札での落札を想定した建築スケジュールの説明を行う。

（2）建築スケジュール見直しで直面する問題

統合予定の令和6年4月時点で施設(校舎・プール)が未完成となることを説明する。

（3）問題解決に向けた提案

事務局からの解決案として、以下の案1と案2を説明する。

案1) 令和6年4月に統合小学校を開校。

ただし、新校舎が完成するまでの間は、現在の吉田小学校に通学し、新校舎完成後、児童と学校教職員は新校舎での学校運営に移行。

（統合年月 令和6年4月）

案2) 令和7年4月に統合小学校を開校。

令和6年度は、吉田地区にある5小学校の学校運営を継続。

(統合年月 令和7年4月)

(4) 各案に係る主な課題と解決方法 (案)

案1及び案2の検討課題として挙げた内容について説明を行う。

(5) 市教育委員会としての考え

将来的に複式学級解消の見込みのない学校を対象とし、集団生活の中で多様な考え方の中から、適切な考え方を選択する能力や人間関係の構築、社会生活を営むうえでの生きる力を育む機会を1日でも早く提供するために「案1」が妥当ではないかと考えている旨を説明すると同時に、統合年月日は教育委員会だけで決定するものではなく、本日の会議において委員の皆様から意見を伺い、当協議会として統合年月日について一定の結論を出したい旨も説明する。

○協議事項に関して、意見・質問等はないか問う。

Q 入札で業者が応札してくれないということは設計価格がその時点で間違っていたということではないか。

A 現在の世界的な物価高騰については想定できなかった面がある。今回、新たに入札する単価は新単価で設計価格を見直している。担当部署とも協議をして、入札がうまくできるようなかたちに進めて参りたいと考えている。

Q 今、この場にいる委員が手を挙げて意見を言うのも難しいと思う。また、地域の実情も校区毎で異なると思う。あくまで提案だが、校区毎で話し合う時間をとっていただき、皆で意見を出していただくような時間を設けることはできないか。

A いただいたご意見のようにさせていただいて良いか伺い、賛成を得る。

○校区毎で十数分程度の協議の時間をとり、校区毎での質問・意見を問う。各校区の質問・意見は以下のとおり。

校 区	意見	質問
吉 田 小 学 校 区	<p><u>今日のこの場で判断することはなかなか難しく、保護者会やPTAのほうで役員会等のかたちをとって話し合ったうえで最終的な判断を下したい。</u>また、保護者の方々や専門の教員の方々に判断してもらうのが良いのではないかと、小学校、幼稚園、保育園、保護者の方と教員の先生方に判断をお任せしてはどうかという意見もあった。</p>	—
奥 南 小 学 校 区	<p>話し合いの結果、<u>案2が良い</u>ということになった。案1は夏休み期間中の余裕を持った新校舎への移動ができるものの、今の吉田小は南海トラフのことを考えると津波が心配である。現吉田小学校で学校活動をさせるのは、子ども及び保護者の安心・安全を保障できるか心配である。また、案1の場合、新入生が4か月での校舎移動となり、スムーズな学校活動ができるのかも心配である。</p>	—
喜 佐 方 小 学 校 区	<p>話し合いの結果、<u>案1が良い</u>となった。ただし、津波が心配であるため、現吉田小学校に行った場合津波対策を考えていただきたい。一度、話を持ち帰ってPTAで相談したらよいかという話もあったが、委員から報告というかたちとしてはどうか。また、喜佐方公民館は敷地を更地で返すという約束をしているため、案1でお願いしたい。</p>	—
立 間 小 学 校 区	<p><u>いきなり案1、案2かをこの場のメンバーだけで決めることはできないため、話を持ち帰らせていただきたい。</u>また、今回の別紙にあるような図面もこれまで回収となっており、保護者の方に説明したことがない。説明を事務局の方からしっかりとしてほしい。</p>	<p>Q もし再入札が駄目だった場合、スケジュールも変わるのか。</p> <p>A 再入札が駄目だった場合も含めて、案1、案2を考えていかなければならないと考えている。案1の場合、令和6年4月に統合するのであれば、再入札が万が一何回か生じた場合も対応できる。案2の場合、統合が令和7年4月であり、それまでに必ず工事が完成できないというリス</p>

		クはゼロではないと考えている。
玉津小学校校区	<u>案2に近いのだが、小学校と中学校の新校舎</u> ができあがってから通学させたいと考えている。現状は、工事の騒音もあり、細かいことが決まっていない中、子どもとしても保護者としても通わせたくないと思う。また、時間をおいて案を細かいところまで練っていただいて、そのあたりの地元への説明会をしていただきたい。	—
吉田中学校区	先延ばしというかたちになると、小学校舎及び中学校舎が完成後、グラウンドが狭い状況となる。運動会や体育祭も含め外での授業も不便になると思う。また、河川改修工事もあり、工事車両も入ってくるなか、子どもたちにとってかなり不便になってくると思う。	<p>Q-1 校舎改築中の間、吉田高校第2グラウンドを中学校の部活動等で使用すると聞いているが、吉田高校の了解はいただいているのか。</p> <p>Q-2 今回の統合については急いでやらなければいけないものなのか。</p> <p>A-1 II期工事の分に関しては、校長先生と協議しご了解をいただいている。部活動の部分については、現在調整中である。</p> <p>A-2 学校建設は使命と考えている。他方、河川改修工事についても豪雨災害もあり、県としてもこの時期にやらざるを得ないということをこれまでの統合準備協議会で説明し、了承いただいていると考えている。</p>

○校区毎の質問・意見を聞いた後、その他質問・意見がないか問う。

Q PTA等の地元へ一度持ち帰らせていただいて意見交換をしたいのだが、教育委員会としてはできればいつまでに話し合いをしてほしいというものはあるか。

A 年内あたりにはもう一度全体会を開催したいと考えている。本日の会で意見が分かれる可能性もあるのではないかと考えていた。後ほど日程調整をさせていただきたい。立間校区のように日程調整をして説明会が必要であれば伺ってのご説明ということも考えており、そういった部分には時間をかけていきたいと思っている。年末までにとっているが、場合によっては、年明けでもそのようなかたちで進めてはどうかとも本日のご意見を聞いて思った次第である。

Q 小中学校の校舎が共にできるまでというのは難しいと思う。このことについては、これまでの協議会で協議を重ね、こうしていこうと判断をしているものである。そういったことも含めて統合の時期をいつにするかという話になると判断に皆さんは迷われると思う。小中学校の校舎が完成するまでや河川改修工事が終わるまでといったことは無しにしていだかないと判断に困る。

A 今までの統合準備協議会で進めてきた議論を覆すような話にもなってしまうため、原則としては、案1と案2、そして、ご意見にあった案1の1年後に引越というかたちが現実的な選択と考えている。

○12月末までに再度各地区で意見を集約いただき、再度、全体会を開催して確定したいと考えている旨を伝え、そのように進めてよろしいかを問う。

—拍手にて委員が賛成を示す—

※日程調整表を配布。本日中に次回日程を決定してほしいと意見があり、調整を行う。

○日程調整表の記入の間、質問・意見に回答する。

Q 各団体が説明に来てほしいとなった場合、教育委員会から資料込みで説明にきていただけなのか。

A そのような要望もあることを本日認識させていただいた。要望に応じて説明をさせていただく。逆に「説明が必要ない」という校区があれば事前に調整をさせていただき説明に参るということは控えさせていただく。基本的には説明をさせていただきたいと考えている。

Q 今回日程調整している12月開催では、地域で案1か案2を地元で決めてくれという話を持って行かなければならないのか、それとも違う意見を集約して発表しなければならないのか。

A 教育委員会としては、本日ご説明した案1か案2のどちらかで決めていただいたらありがたいと考えている。吉田地区小学校5校は複式学級が不可避の状況であり、その状態をできるだけ早く解消すること、集団生活のなかで多様な意見に触れて成長を促したい、そのなかで生きる力を育てていただきたいという統合の目的がある。従って、教育委員会としては先延ばしはしたくなく、以前、令和4年4月1日の統合予定を延期しているというところもあり、令和6年あるいは7年の小学校の統合はできれば変えずに進めていきたいと考えている。

Q 案1か案2で決めてほしいということか。

A 意見の集約をしていただきたいというところである。

3. その他

資料に基づき、(1)吉田統合小学校で使用する新しい校歌の作成について、令和4年7月14日開催の第3回教育検討部会での決定事項について報告を行う。

(1)吉田統合小学校で使用する新しい校歌の作成について

校歌作成の方向性として、委員の1名を中心に吉田町にゆかりのある方々に作詞・作曲のご協力をいただきながら作成すること及び吉田町内の小中学生から作成に必要な言葉やフレーズを募集することを教育検討部会で決定した旨を報告する。

○校歌に関して、教育検討部会の決定のとおり進めて良いか問う。

ー特に反対意見なしー

○最後に教育委員及び市議会議員2名から意見・感想を求める。

<教育委員>

意見 色々なトラブルが降りかかっているが、小中が連携した、愛媛県下、また、全国でも類を見ない5校を統合した立派な学校をつくろうという思いは続いている。PTAの役員の方々も、年数が経ち話がうまく引き継がれていないところもあるかと思うが、今の中学校の敷地内に建設するという事は、これまでの会で決まっているため、理解していただきたい。今回の議題は校区により実情も異なると思うため、今一度地元に戻られて話をさせていただき、地元の忌憚のない意見を次の会を出していただきたい。私も教育委員として、皆さんが言いにくいことは直接教育委員会の方にも申し上げていく。

<市議会議員2名>

意見 皆さん初めて聞く話であり、本会は時間も限られたなかで協議をする大変悩ましい会議であったと思う。私も市議会議員として皆さんとともにこの問題に向き合っていきたいと思う。

Q 今回の案1と案2について、吉田小学校の入札には関係のないことであり、12月末までには結論を求める理由を聞かせていただきたい。

A 予算編成の時期の兼ね合いもあり、予算化をするには年内もしくは年明け早々が妥当ではないかと考えている。

Q これだけ重たいテーマを1か月の間に地域の方々に投げかけることになるため、年明けの1月末くらいまでの時間を地域の方はいただきたいと思う。少なくとも1か月延ばすことはできないだろうか。

A 次回の全体会の日程調整は本会中にさせていただいたところであるが、次回の場でも決まらない可能性もあると思う。

意見 無闇に先延ばしにしろという意味ではないが、1か月は短い。1か月の間に教育委員会が説明に来て、地元の総意を次回この場に持ってくる期間としては12月中は短すぎると思う。

○市議会議員の意見を踏まえて、次回の全体会を、12月中の開催とするのか、もう少し時間をかけて1月の終わりくらいを目途に開催するのか、委員に挙手にて問う。

－1月の開催を希望する委員が大多数－

※本会中に調整した全体会日程は撤回とし、1月末のところで再調整を行うこととなる。

意見 案1と案2の提案だが、県河川改修工事の様子、この建設工事に携わる工事車両の学校敷地内の通行ルート、そのなかで子どもたちがどのように学びや部活動や健やかな学校生活を送れるのかということに関しては、今回資料の図面を持ち帰っていただき、もう一度地域でご議論いただいて結論を出していただきたい。一番は吉田の小学校が1つになるという歴史的な瞬間を本当に夢を持って、親も行かせたい、子どもも行きたいと思えるような小学校建設をスムーズに迎えていただくように寄り添って進めていただきたい。

4. 閉会あいさつ（教育部長）

本日の長時間にわたる協議へのご協力に感謝を申し上げます。今回の議題を話し合うために地域に持ち帰っていただくこともごもっともと思ったところであり、良い小学校を作るために委員の皆様にも何卒ご尽力いただきたい。

また、教育委員会としても今回の入札不調というのは想定外だったというところであるが、善後策を考えたいという状況であり、ご理解いただきたい。

これまで時間も手間もかけて決定されたことは、それ相応の理由がなければ覆すべきではないと思っている。そのような意味では、教育委員会としては、これまで決定した部分につきましては極力変更のないようにしたい。そのなかで入札不調が起こってしまい校舎が間に合わなくなったことをどうするのかということであり、それ以外のスケジュールまで全て撤回して考え直すことは現実的な話ではないと思っている。地域の方へのご説明の折には、皆様の方からも決定事項につきましてはご説明いただけると大変ありがたい。

何よりも子どもたち、そして、そこで働く教職員、皆様が新しい学校で新たな仲間として新学校を迎えるということが究極の目的・目標であり、そこだけはぶれさせないように進めて参りたいと考えている。

20 : 40 協議会終了